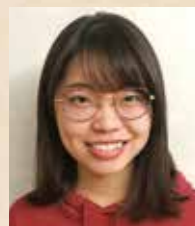


香川大学生がつなぐ地域の笑顔 「和cafeぐう」の経営を拠点に

香川大学直島地域活性化プロジェクト 嶋田 梨沙



香川大学直島地域活性化プロジェクト（以下直島プロジェクト）は05年に設立されました。同年3月に直島を訪れた香川大学経済学部の中川尚幸教授が、「観光客の方はたくさん来てくれているのに、飲食店や休憩所が少ない」という島民の方々

の声を聞いたのがきっかけでした。中川教授がゼミ生にこの話をしたところ、学生側から「自分たちでカフェをやってみてはどうでしょう?」という提案があり、直島プロジェクトが発足、翌年06年に「和cafeぐう」がオープンしました。

和cafeぐうとは

直島プロジェクトの活動の中心となっているのが「和cafeぐう」の経営です。学生たちだけで運営しているので、土日祝日のみの営業となっています。06年にオープンしてから現在までの間に53700人を超えるお客様をお迎えすることができました。朝の仕込みから、メニューの試作・提供にいたるまですべて学生が行っています。また「グリーン電力証書」の導入（証書の購入代が再生可能エネルギーの維持と拡大に使われるため、購入した分だけ再生可能エネルギーを使ったとみなされる）や、コンポストの設置（カフェで出た生ごみを集め堆肥にしている）など、環境に配慮したエコカフェ経営を行っています。「和

cafeぐう」という名前には、①思いがけない出会いの「偶然のぐう（偶）」、②おもてなしの「待遇のぐう（遇）」③お腹が空いたときにでる「ぐう」という音、そして④環境に「good」という四つの意味が込められています。



和cafeぐうの外観



直島☆のりのり井

島民、地域の方々との関わり

地域のイベントにも積極的に参加しています。毎年8月には地元地域団体「うい・らぶ・なおしま」と協力して「なおしま自然探検隊」を実施しています。当イベントでは、小学生と一緒に磯遊びをしたり、カレーを作ったりします。夜にはみんなで手作りした捕獲器を片手に栈橋へ行き、ウミホタルの観察をしたりします。直島の自然の豊かさを感じることのできる交流イベントです。



なおしま自然探検隊

また去年から始まった活動に「船内ガイド」と「豆腐プロジェクト」があります。「船



豆腐づくりのワークショップ

内ガイド」は、直島を訪れる観光客の方々に、既存のガイドマップには掲載されていない直島の魅力を伝えたいという思いから始まりました。



船内ガイド

私たちが直島で活動している経験をもとに、島内の巡り方や隠れスポットなどをお伝えしました。今後は学生目線で二冊のガイドブックを作成し、私たちのカフェに置く予定です。「豆腐プロジェクト」は直島の特産品であるSOLASHIOをつくる

際にでる“にがり”を有効活用するために始まった活動です。これまでに2回カフェの店内で開催したワークショップはとても好評で、小さなお子さんからお年寄りの方に至るまで、参加者の方々は自分で作った豆腐をおいしそうに食べていました。その他年間を通して、島内外問わず様々なイベントに参加しています。

活動を通じて気づいたこと

私は香川大学に入学するまで直島プロジェクトの存在を知らず、またプロジェクトに入った動機も「直島のアートの関心がある」という単純なものでした。しかしプロジェクトでの様々な活動を通じて島内外を問わず様々な人たちとつながり、その温かさに触れることができました。週末になると当たり前のように直島へ向かい、カフェの経営が行えているのも直島プロジェクトを支えてくださっている方々のおかげだと実感しています。また活動に関わってくださっている方々の声に、耳を傾けることの重要性に気づかされることも多いです。直島プロジェクトでは、学生側が企画・運営するイベントも数多く存在します。そんな時は、学生たちだけが満足していても良いものは生まれません。カフェに足を運んでくださる方々や、イベントに参加してくださる方々の意見や反応を参考にしながら、これからも共に活動を進めていくことが大切だと考えています。